



行動特性について

三事例を挙げてみました。

似たような行動があるからと言って、発達障害とは限りません。

どれも正しいとらえ方をし、行動・発言しています。

『小1教室に不審者!』

過去に聞いた話が頭の中で短絡的に結びついてしまうが、状況や相手の立場を想像することが難しく、突発的に事実を発言してしまうため、正しいことを言っているにも受け入れてもらえないことが多い。

『バス待ちの兄さん』

正しいことですが、時と場所を選んで行動できない。曖昧さ（見て見ぬふり）を持ち合わせていないため我慢が難しい。そのため正しいことをやっつけても「変」にうつってしまう。

『歯磨きの味』

相手に合わせて伝わるように話すのではなく自分の意見を主張することに力を注いでしまうため、相手の反応には気が付きにくく一方的な主張になってしまう。

(ギレン総帥↓ガンダム参照)

